

2023年3月期第1四半期 決算補足資料

2022年8月5日



(東証スタンダード市場 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
バランスシート（連結）	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減額	前年 同四半期比	2023年3月期 業績見通し
売上高	7,614	7,919	+ 304	+ 4.0%	40,000
営業利益	113	68	△ 44	△ 39.1%	1,800
経常利益	127	93	△ 34	△ 27.1%	1,850
親会社株主に帰属する 四半期純利益	68	42	△ 26	△ 38.3%	1,200

決算の概況

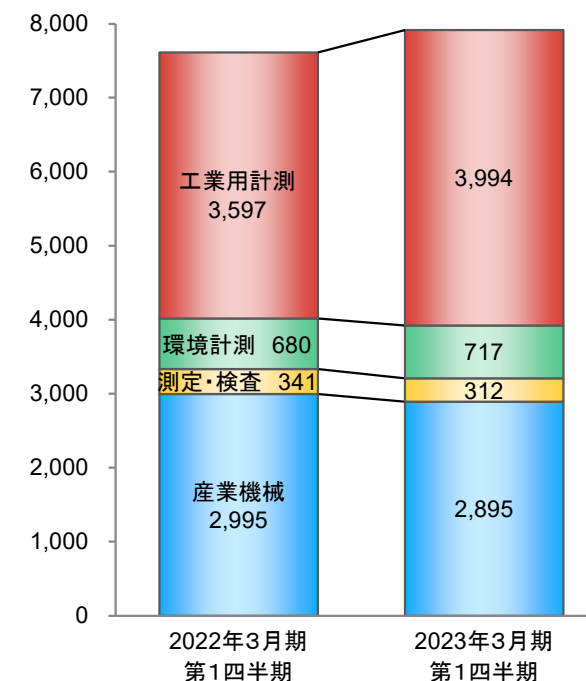
商品の長納期化の影響を見越した前倒し発注の動きもあり、社会インフラ市場や民間向けの受注は堅調に推移しました。また、生産設備の高稼働状況を背景に設備投資やリプレイス需要が堅調な化学業界、鉄鋼業界、製造用機械・電気機器業界、造船業界向けの販売が増加しました。利益については、販売費及び一般管理費の増加に伴い減少しました。

(注)本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測制御機器	3,597	3,994	+ 11.0%	50.4%
環境計測・分析機器	680	717	+ 5.5%	9.1%
測定・検査機器	341	312	△ 8.6%	3.9%
産業機械	2,995	2,895	△ 3.4%	36.6%
合計	7,614	7,919	+ 4.0%	100.0%

(単位:百万円)



増減要因

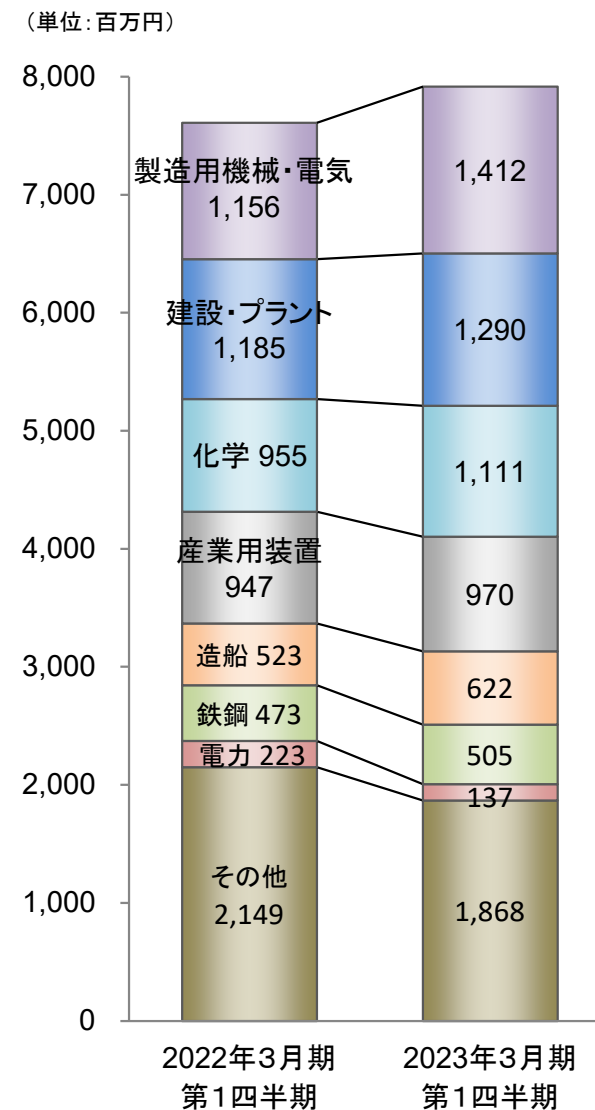
◆ **工業用計測制御機器** … 生産現場における労働力不足や多様な働き方に対応するため、生産性向上や業務効率化を推進する自動化設備や各種システムの提案、増加する自然災害に備え、安心して安全な社会基盤づくりにつながる対策機器等の提案に取り組めました。その結果、定期修理に伴う設備投資需要を取込み、化学業界や建設・プラント業界向けに各種センサーや省力化システムの販売が伸長しました。また、生産設備の稼働率が高い製造用機械・電気機器業界や造船業界向けの販売も堅調に推移し、全体としても増加しました。

◆ **環境計測・分析機器** … 持続可能な社会の実現に向け、地球環境の保全と環境負荷低減を支える水質・ガス・大気分析計、気象観測機器の提案、機器稼働後も最適な性能を維持するアフターサービスの提案に取り組めました。その結果、定期修理に伴う更新需要を取込み化学業界向けガス検知器や大気分析計の販売が増加しました。また、社会インフラ市場向け水質計や気象観測機器の販売が堅調に推移し、全体としても増加しました。

◆ **測定・検査機器** … 脱炭素社会に向けた次世代技術の研究開発、品質や精度の向上を目的とした各種測定・検査機器の導入、また、製造現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)化を推進するタブレット端末を使用した保安点検ソリューションの導入提案に取り組めました。その結果、化学業界向け大型検査機器の販売が増加しましたが、自動車業界向け精密測定機器の販売が減少し、全体としても減少しました。

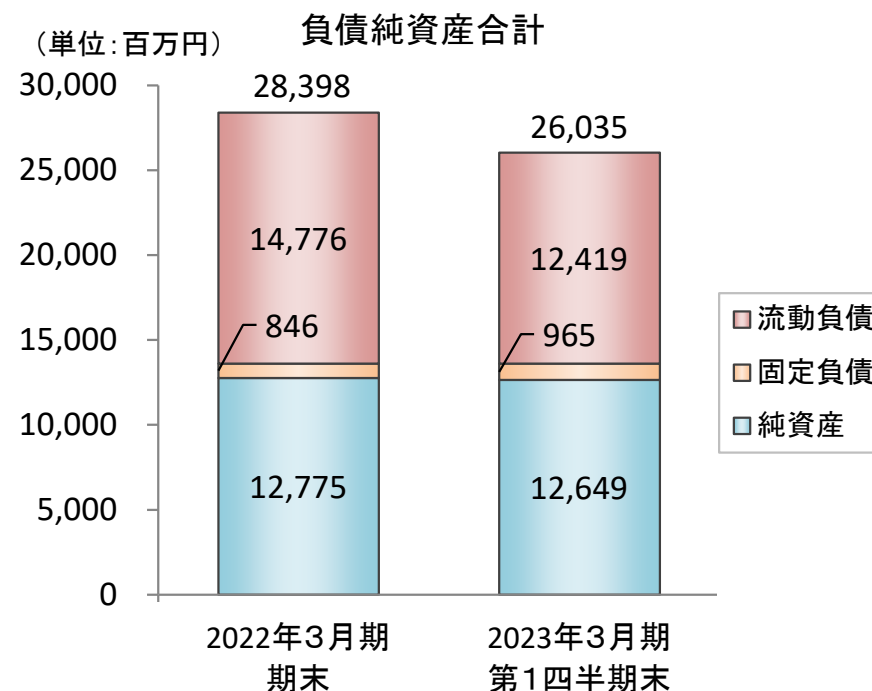
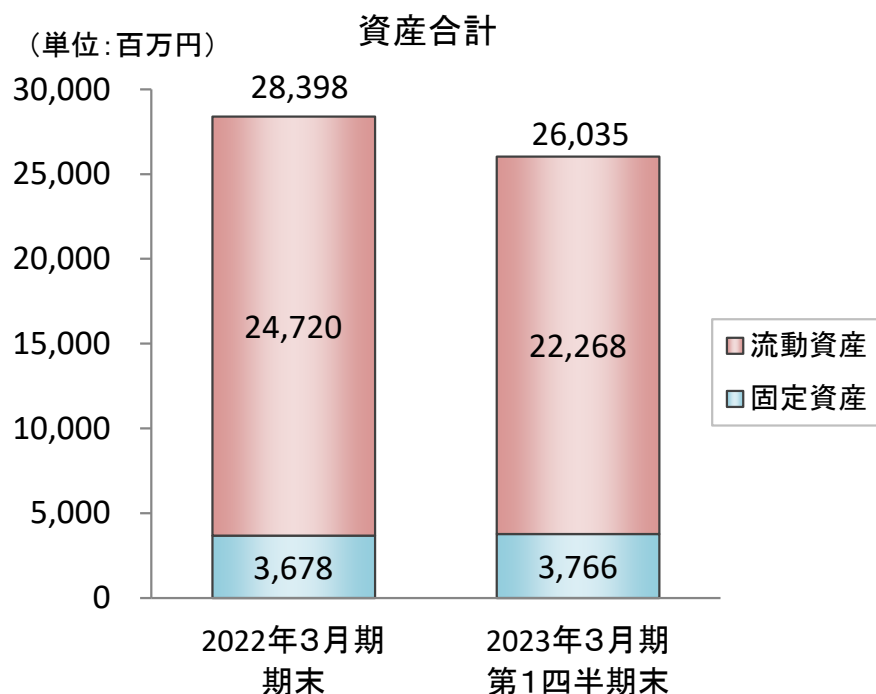
◆ **産業機械** … 循環型社会の形成や脱炭素社会の実現に向け、リサイクルプラントや省エネルギー関連機器の導入、生産現場や社会インフラ市場における老朽化した設備に付帯する機器の更新に取り組めました。その結果、化学業界や鉄鋼業界において老朽化した設備に付帯する機器の更新需要を取込み販売が堅調に推移しましたが、社会インフラ市場向け特殊車両の販売が減少し、全体としても減少しました。

(単位:百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
製造用機械・ 電気機器	1,156	1,412	+ 22.2%	17.8%
建設・プラント	1,185	1,290	+ 8.9%	16.3%
化学	955	1,111	+ 16.3%	14.0%
産業用装置・ 重電設備	947	970	+ 2.5%	12.3%
造船	523	622	+ 19.0%	7.9%
鉄鋼・ 金属製品	473	505	+ 6.6%	6.4%
電力・ガス	223	137	△ 38.5%	1.7%
その他	2,149	1,868	△ 13.1%	23.6%
合計	7,614	7,919	+ 4.0%	100.0%



(注)2023年3月期より、企業の多角化、事業環境の変化に迅速に適応していくため、開示の業界区分の見直しを実施しました。
開示済の2022年3月期第1四半期の売上高については、業界区分見直し後の数値を記載しております。

バランスシート(連結)



2023年3月期第1四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率 : 48.6% (2022/03時点 45.0%)

資産

【増減の主な要因】

(単位:百万円)

- ◆受取手形、売掛金及び契約資産: 売上債権の回収が進んだことにより減少しました。
11,665(△2,295)

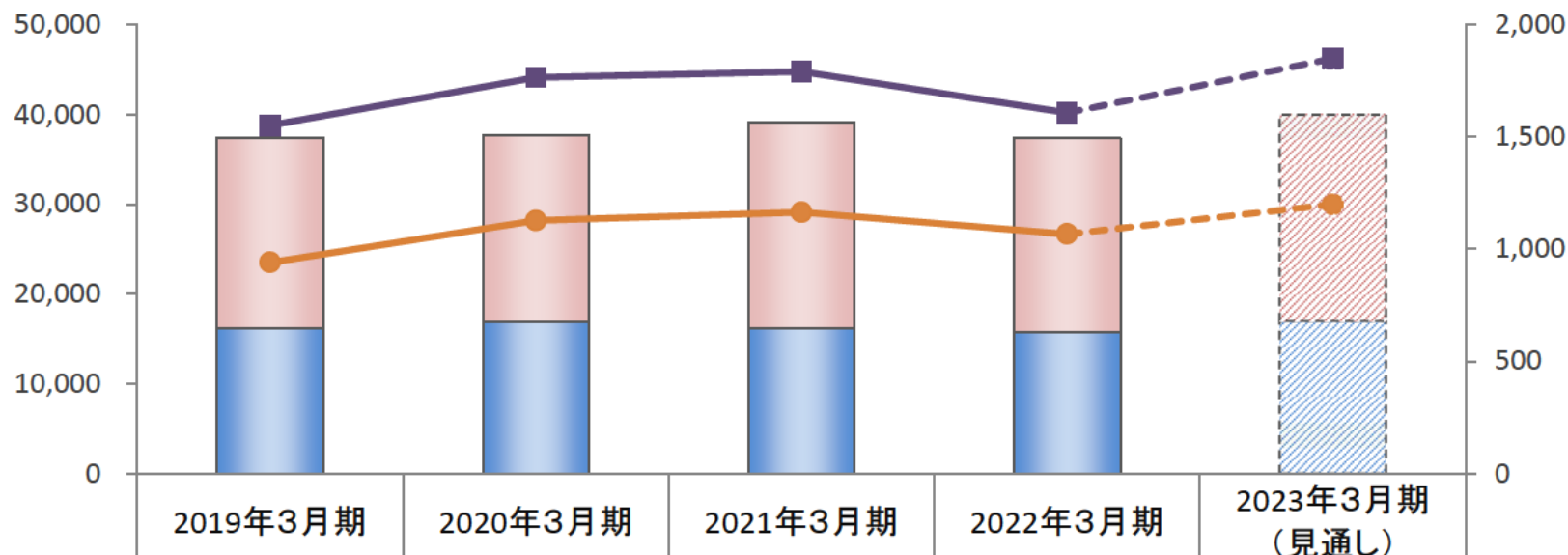
負債・純資産

【増減の主な要因】

(単位:百万円)

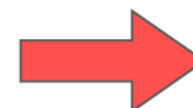
- ◆支払手形及び買掛金: 仕入債務の支払いが進んだことにより減少しました。
4,511(△2,290)
- ◆純資産: 四半期純利益42百万円があった一方で、配当の支払い183百万円等により減少しました。
12,649(△126)

(単位:百万円)



3~4Q売上高(左軸)	21,143	20,758	22,926	21,606	23,000
1~2Q売上高(左軸)	16,251	16,924	16,232	15,771	17,000
売上高	37,394	37,682	39,159	37,378	40,000
経常利益(右軸)	1,552	1,765	1,791	1,608	1,850
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	941	1,127	1,164	1,067	1,200

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 目標
ROE (自己資本利益率)	9.8%	10.9%	10.3%	8.7%	10.0%



本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。